

# 第44回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成31年1月23日  
2. 開催場所 横手セントラルホテル  
3. 委員出席 委員総数 6名  
出席委員数 4名  
欠席委員 2名

出席委員	鈴木 信好	委員長
	佐々木 隆一	委員
	土田 百合子	委員
	菊地 清志	委員
欠席委員	岡部 えり子	副委員長
	辻 正憲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 9名

奥山 和彦	代表取締役社長
渡部 尚男	代表取締役副社長
武茂 広行	代表取締役副社長
高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
木匠 一公	支援室長補佐
高橋 一親	支援室
細川 正実	営業部/番組審議会事務局
伊藤 弘子	営業部/パーソナリティ

(1) 1月課題審議 審議番組『金澤八幡宮奉納伝統掛唄～地域の宝を未来に向けて～』  
(平成30年10月7日 日曜日 午後1時～ 放送分)

(2) その他

#### 4. 審議事項

(1) ①審議番組『金澤八幡宮奉納伝統掛唄～地域の宝を未来に向けて～』について

- ・特別番組ということで保存会からさまざまな歴史を聞くことができた。
- ・保存してこれからもこのような情報を提供してほしい。
- ・前と途中で説明が入っていて、唄を聴かせるだけの内容ではなく急所をしっかりと押えられていた。
- ・30分が短く感じた。
- ・こういう番組は、その時の様子やいた人の感想などで終わらせてしまう、未来を担う地元の小学生や、掛唄を音楽的観点から捉えて学ばせる大学側の先生の話、生徒の話などあってよかった。
- ・掛唄の内容など広がりを実感できる構成になっていた。
- ・保存会の会長の話のとてもテンポが良く、また重複も少なく聞きやすかった。原稿があるんだろうと思って聴いた。
- ・北小学生と大学生の掛唄を通しての交流があるのも初めて知った。小学生にとっても大学生にとっても将来的にはプラスになるので、この紹介はよかった。
- ・行ったことがないけれど、行ってみたいと思わせる構成だったと思う。
- ・よこてだいすき(3年ほど前に横手市内の小学校に配布された冊子)にも同じような内容のページがあり、オーバーラップしてより番組に親近感を覚えた。
- ・伝統とか、歴史などが伝わってくる内容。
- ・そもそも掛唄の説明や、どうすれば勝つのか、組みあわせなどの説明がなく聴いていてストレスを感じた。また、場所の説明もなかった。
- ・申込みや参加資格、出場などの流れなどがわかれば、もう少し金澤の掛唄大会に興味を持つ人も増えるのでは?そういう視点が欠けていた。
- ・インタビューの中で、いきなり「仙北荷方節」という言葉が出てきてその解説もなかった。
- ・会長の話が心地よいものではなかった。普通に話しをしている調子ではなかった。

#### 《会社側からの回答》

・本来であれば、横手市全体の伝統行事についてご紹介したかったが今回はとっかかりとして自分が携わったこともある金澤八幡宮の掛唄をご紹介した。

会長の話については、ごちなくなってしまったのはある。打ち合わせを早めにしてあげればよかったと思った。

次に作る際には、細かい部分まで説明していきたいと思う。また、保存という点においてもぜひ継続していきたい。